

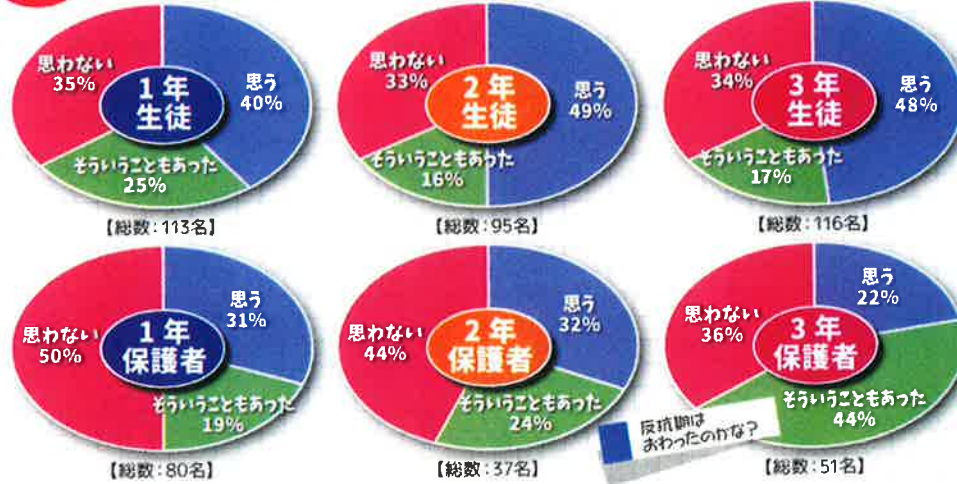
特集① 親子の「コミュニケーション」事情

子どもの言い分 親の気持ち



最近、親子で会話やコミュニケーションはとれていますか？
 「最近話しをしていないけど、うちだけのこと？」「他のおうちではどうなのかしら？」と疑問を感じることもありますよね。
 7月にアンケートをとり、多くのご家庭から集めることができました。ご協力ありがとうございました。高栄中生の言い分、親の気持ちをまとめましたので、ご覧ください。

Q1 反抗期だと思いますか？



「思わない」が意味と違ってびっくりな印象

反抗期はあつたのかな？

生徒

Q2 親にイライラしたのはどんな時ですか？

- ◆多数派
- 勉強しなさい(勉強した?)と言われた。
 - 何回も同じことを言う。
 - 約束を破られたとき。
 - 理不尽だ。
 - わかってくれない(意見を聞いてくれない)。
 - 常にイラつく。
- ◆少数派
- お金がないと言いつつ、自分は高いものを言う。
 - 寝ているのに話しかける。
 - イラっとするけど、親のことは嫌いじゃない。
- ◆中には ●親には感謝のほうが多い。



保護者

Q2 どんなときに反抗期だと感じましたか？

- ◆多数派
- 無視してくる。
 - 言葉づかいが悪い。
 - 部屋から出てこない。
 - 返事しない。
 - 小声で悪口(ブツブツ文句を言う)。
- ◆少数派
- 怒ったら荷物をまとめて家を出てしまった。
 - 本人が自分で「反抗期だ」を言っていたので。
 - 子どもの部屋に親が入ると追い出される。



生徒

Q3 イライラをどのように対処しましたか？

- ◆多数派
- 無視する。
 - ねる。
 - 好きなことをする。(音楽をさく・ゲームをする・YouTubeをみる)
 - 我慢(心に秘めておく)
- ◆少数派
- 朝まで起きている。
 - 散歩したり、走ったりする。
 - ノートに書いた(記録した)



保護者

Q3 反抗期のお子さまにどのような対処をしましたか？

- ◆多数派
- 話し合う。
 - 放っておく(その行動に対してだけ無視)。
 - 反抗的態度に屈しない。(いつもと変わらず対応する)
 - 父親には逆らわないので、父親から叱ってもらう。
- ◆少数派
- 嫌がってもあえてスキンシップ。
 - 明るくふるまう。
 - 笑いこける。



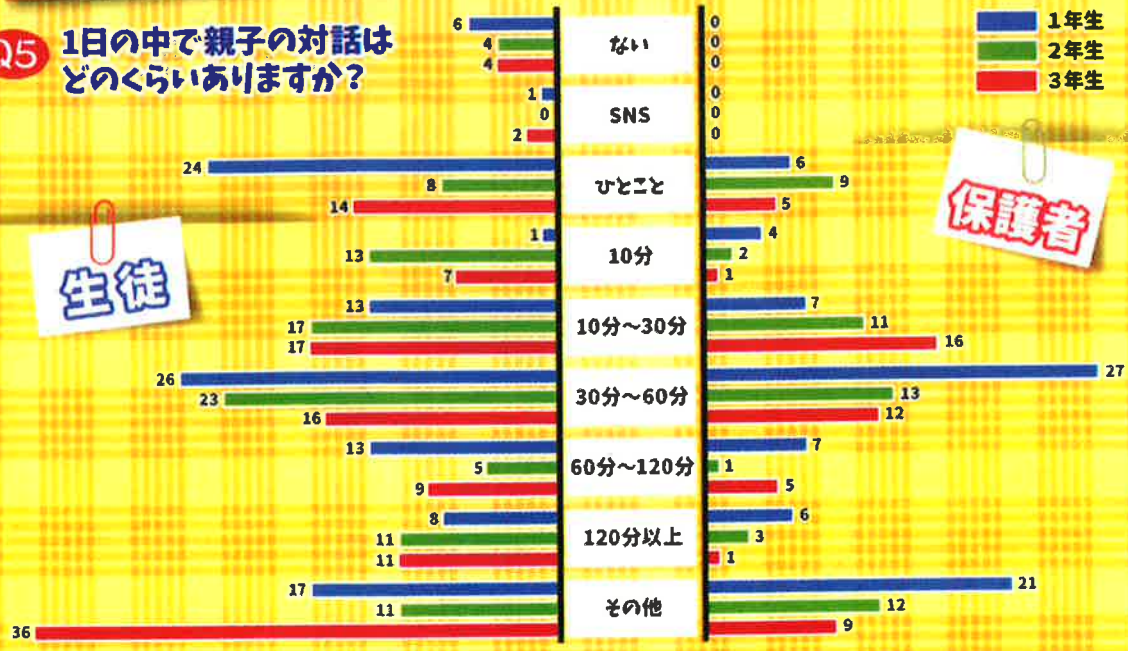
Q4 どういうときに親のことを「イヤだな」と感じますか？

- ◆多数派
- 弟や妹に優しくする(兄弟間格差?)
 - 弟に怒っているのについて自分に怒りをぶつける。
 - 注意されたとき、前のことも言われる。
 - 親の考えを押し付けられる。
 - 何かと制限しがち。
- ◆少数派
- 自分のことを棚に上げて話す(子どもにやめなさいと言っていることを親がしている)
 - 友達の前でも過保護にされるのがイヤ。
 - テンションが高いところ。

Q4 お子さまとどのような話題で会話をしますか？

- ◆多数派
- 学校のこと ●部活のこと ●友達のこと
 - テレビの話題 ●好きな芸能人のごと(スポーツ、アーティスト、アイドルの話題)
 - 「今日のごはん何?」
- ◆少数派
- 環境破壊について
 - 進路・将来の夢について

Q5 1日の中で親子の対話はどのくらいありますか？



生徒

保護者

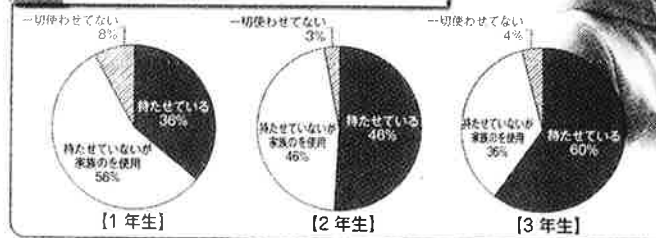
担当者より

「まるで自分のことを言われている」「人の子の気持ちなんてなかなか聞けない」「自分の子どもとあまり変わらない」という感想でした。「自分のときもそうだったなあ」という感想もありました。しつこくしないようにしようと思います。今回のアンケート結果が親子の会話の参考になれば何よりです。

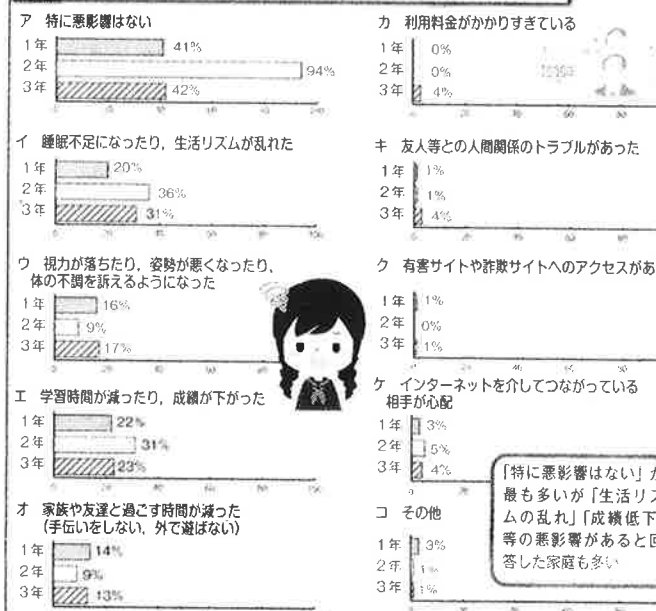
令和元年 見前中学校 携帯・スマホ 意識調査!

回収数 1年生 160 2年生 102 3年生 134

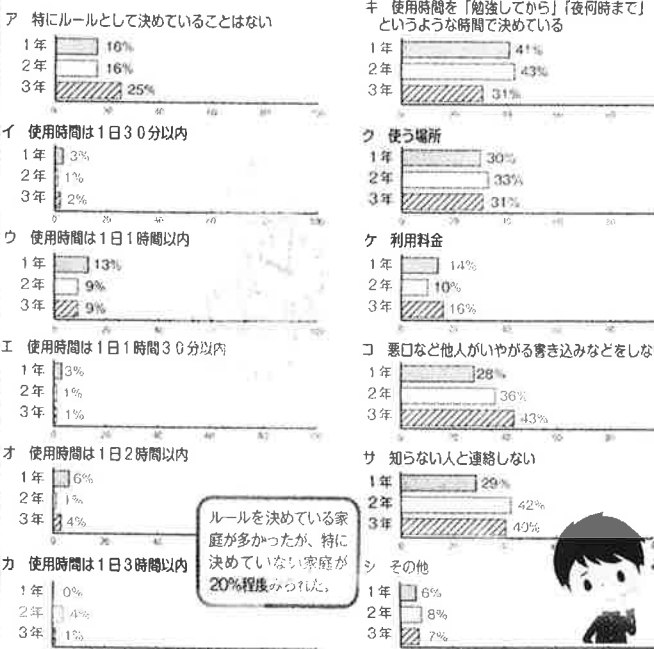
Q1 携帯電話・スマートフォンを持たせていますか？



Q2 インターネットを利用して悪影響がありましたか？(複数回答)



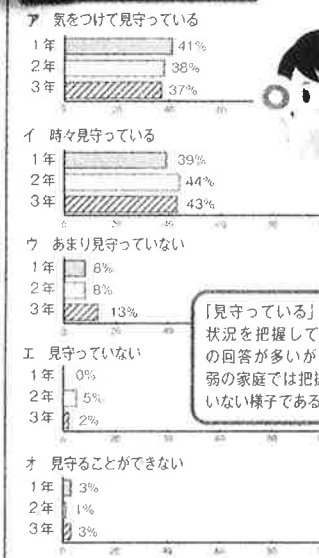
Q3 インターネットの使用について何らかのルールがありますか？(複数回答)



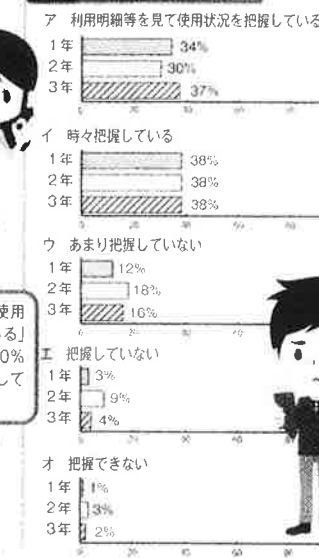
現在、情報機器の利用が当たり前となり、便利なツールであるとともに反面弊害も多々指摘されています。PTA広報「たかやくら」では、中学生の携帯電話等の利用について保護者の皆様の意識調査を行うことにいたしました。アンケート結果をご覧になり、参考になさってください。アンケートのご協力ありがとうございました。また、いただいたご意見は学校にお伝えいたしました。

どれくらい注意を払っていますか？

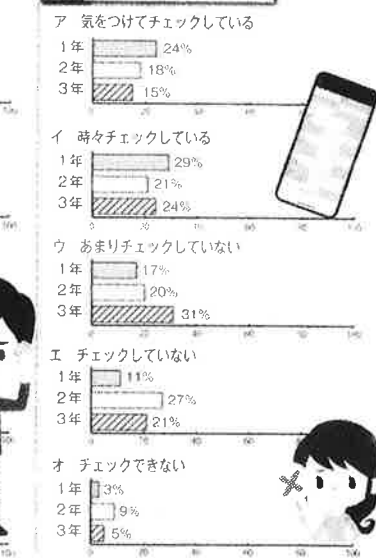
Q4 使用している様子



Q5 使用状況

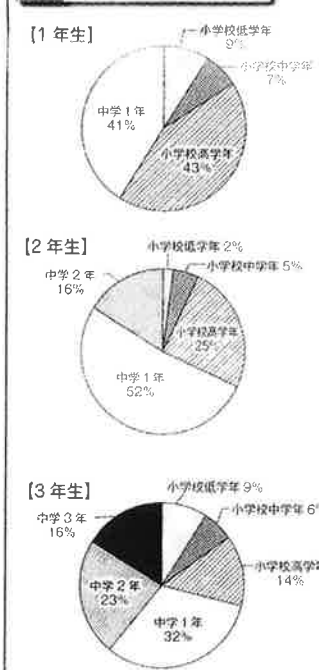


Q6 使用内容

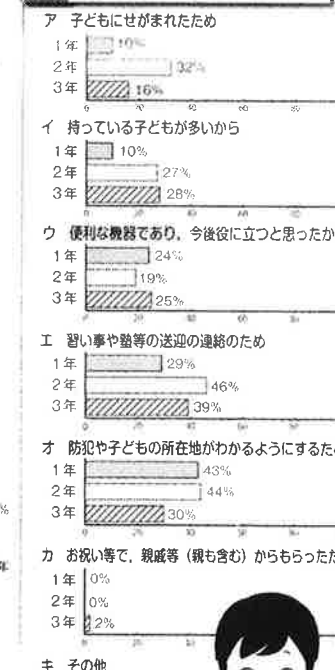


Q10～Q13は、お子様にお子様専用の携帯電話・スマートフォンを持たせている保護者が回答。

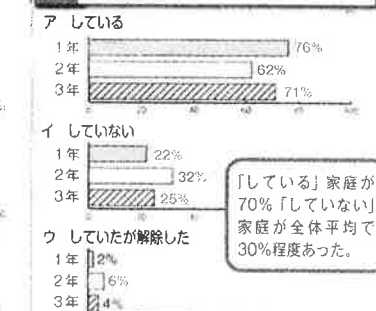
Q10 いつ持たせましたか？



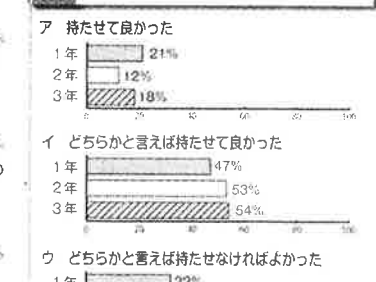
Q11 持たせた理由は？(複数回答)



Q12 フィルタリングを使用していますか？

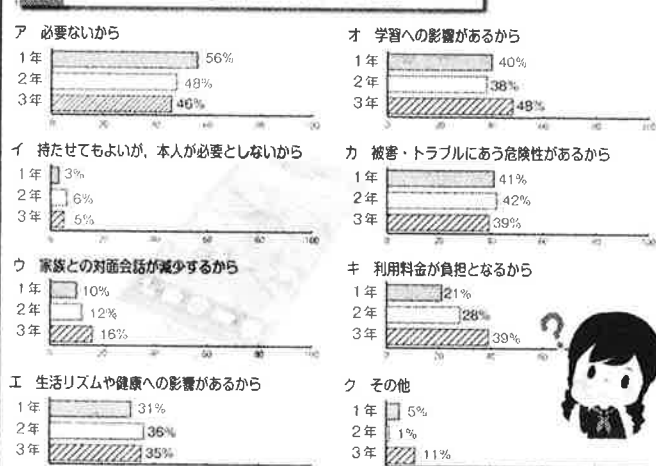


Q13 持たせてみてどう思いましたか？

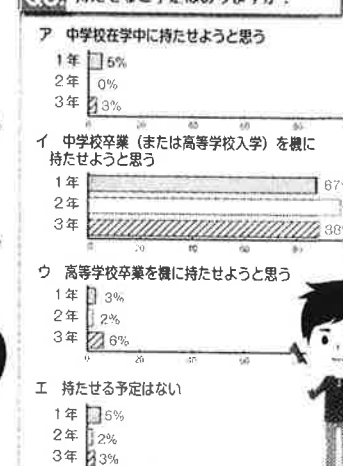


Q7～Q9は、お子様にお子様専用の携帯電話・スマートフォンを持たせていない保護者が回答。

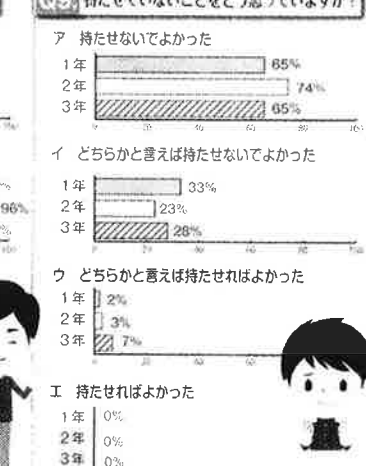
Q7 持たせていない理由は何ですか？(複数回答)



Q8 持たせるご予定はありますか？



Q9 持たせていないことをどう思っていますか？



アンケートによる意見抜粋

1学年

- 自分の子ども時代などを考えると、あまり良くないと思いつつも時代だなあと感じながら使わせてあげています。ダメとダメでも将来的には、もっともっといろんな物が出てくると思うので上手に利用してあげたいと思います。

2学年

- 携帯電話は、持たせることについて、良いとも悪いとも考えない。持っていないと親としても不安・不便だと思えます。
- 金銭も変わらせず、成績も悪くなってないことから、本人を信頼して持たせています。
- 自分で考え、自分で管理することができるかを親が気にして、尤もに注意して気づかせています。
- 高校生になる前にやりとりができる点で中学のうちに持たせました。

3学年

- 子どもには「スマホに支配されないために」ということで、細かいルールを書いた契約書をお渡ししています。
- 勉強中は見ない、テスト前は使わない、土日だけ使うなど自分で決めていることもあり、学習の集中力は逆に高まった感じがあります。

(アンケート調査を終えて)

携帯を持たせている保護者の多数は、その使用について注意を払っているようで、各家庭で使用の決まりがある事も多く見られました。携帯は便利なツールですが、間違った使い方をすると解る人達、また自分自身をも傷つける存在になり得るものです。持つことが悪いのではなく、使い方次第なのだと思います。大人でも間違った使い方をしてしまうのに、まして子どもはどうでしょうか。言葉は独り歩きしがちです。受け手次第で意味合いが変わってしまうことはよくあります。顔の見えないメールなどはおさらです。それを踏まえ親身したり、聞き取ったりする能力が必要なのではないのでしょうか。

携帯は日々進化しています。それに付いて行くには、子どもだけでなく、大人も携帯に対する「学び」が必要ではないか、と思えました。

持たせたことに肯定的だった家庭は68%程度、一方「持たせなければよかった」と感じている家庭も32%あった。

■シリーズ vol.3 最終回

新！学習指導要領

先生教えて！学校インタビュー



いよいよ 2020 年度から始まる新学習指導要領について、福野小学校の代表として影近校長先生と山河教頭先生にお話を伺いました。

これまで、福野小学校としての取り組みや実際の現場などを取り上げてきましたが、このインタビューを通して、学校の今後の方向性や私たち保護者がどのように対応していけばよいかを、本紙をご覧の皆さんに分かりやすくお伝えします。



先生の子供時代。外遊びが大好き！ 勉強は茶の間で。

広報 校長先生はどのような子供でしたか。
校長 学校から帰ってすぐ外に遊びに行っていました。体を動かすのが好きで、年上のお兄さんたちと一緒に木登りや、墓地づくり、ドッジボール等をやっていました。冬の晴れた日は「すんずら」にのって学校へ行ったのを見ています。
小学校の同級生は少人数だったので今でも交流があり、釣りや獅子舞等で集まることがあります。



▲ 楽しく対話をする広報委員

広報 勉強は好きでしたか。
校長 わりと好きでしたね。そんな優秀ではなかったのですが、することがないと勉強するしかない。(笑)
そんなに時間を決めず、茶の間でしていました。ドリルに書き込まずに何回もノートに書いて覚えたり、解いたりしていましたね。
ちなみに好きな教科は算数と体育でした。

教師を目指した理由。 厳しかった先生との出会い。

広報 どの時点から先生になりたいと思うようになったのですか。
校長 小学校高学年くらいですかね。伯父さんが体育の先生をしていて、あこがれてました。算数は答えが一つで、工夫して答えにたどり着いたり、ひらめきで解けたりするところが好きでした。
一方で、できない教科もありました。ただしそれがあつたことによって、「できない子供の気持ち」が分かる先生になりたいと思えるようになりました。完璧な人間はないと思います。



すごく厳しい先生がいらして「なんでそこまで言われんなんかな。」って、いつも泣いてたんですが、厳しかったおかげで、できないことが少しずつできるようになってきて中学生の時に成績が伸びたんです。「できない時にどうしたらよいか」解いて教えてもらったからなのかな。」と今は感謝しています。



大人になっても使える、 思いを伝えるチカラ。

校長 非認知能力。知識だけではなく「心」を大事にすることを学校はもっと伝えていかなくてはならないと思います。学校は勉強だけをやる場所ではないのです。
自分の考えを発表するのではなく、相手に伝わるよう工夫することは大人になっても使える大事なコミュニケーション能力だと思います。

※1 非認知能力(ひにんちのうりょく)

テストでは測定できない個人の特性による能力。意欲、協同性、粘り強さ、自励心、創造性、コミュニケーション能力といった、測定できない個人の特性による能力。学力(認知能力)と対照して用いられる。集団での行動の中での困難や失敗、挫折などの経験を通して養われるものが多い。

校長先生の宝物

「師弟同行」の色紙は恩師からのお言葉。教師も子供たちも一緒になって修行し、進むことがよりよい道になるという意味。
ハガキは、厳しかった先生から。高校、大学、教員試験に受かったときや、教頭になった時などにお祝いとして。教え子をずっと気にかけておられて、今でも心を支えてくれる存在。



学習指導要領にとられることなく、子供との対話を。

広報 広報紙では2回にわたって「新学習指導要領」について伝えてきましたが、保護者の方に向けてメッセージをお願いします。
校長 柱は出しているのですが、4月からの新しい教科書を確認しながら進めていくのですが、あまりカチカチに考えすぎないほうがいいかなと思います。私たちが経験していないことばかりなので、やりながら様子を見ながらよりよいものを焦らずに進めていけたらよいかなと思います。
増えた時間のやりくりは難しい。6時間の日を増やす予定ですが、子供も先生も大変ですね。



広報 教頭先生からもメッセージをお願いします。

教頭 「主体的、対話的で深い学びを」ということですが、今までもやってきたことなので、4月からガラッと変わるわけではないです。特に「対話」ということで書きますと、子供が読解力を身に付けるには聞いてくれる人が必要です。家でたくさん会話をしてください。保護者の方もお忙しいとは思いますが、そういったゆとりがあれば子供の話す力も伸びると思います。ぜひ、子供の声を聞いてあげてください。



AI に仕事が奪われる時代。大事にしたい対話のチカラ。

広報 子供たちがこれから生きていく上でどのような力を身に付けるとよいと思いますか。
校長 自分の思いを伝えなくても生きていける時代背景ではあるのですが、こういう時代だからこそ自分の思っていることをしっかり相手に伝えること、伝え方も工夫するということが大事だと思います。自分の考えをしっかりとつと、伝えること、聞くこと。きちんと対話できる大人になってほしいですね。



▲ 親の子に対する思いはそれぞれだが、不安や悩みもいろいろ。

広報 自分も子供と話していても、一言で終わってしまうんです。「食べて」「やってる」「なにを」という感じなんです。
校長 親も社会も子供を大事にすぎず、言葉が少なくても何とかこちらで理解しようとしてしまうところがあると思います。

広報 教頭先生はどのように思いますか。
教頭 これからは AI に仕事を奪われる時代になると思われます。従って、人間にしかできないこと、つまり「人の気持ちを考える」「発想豊かに工夫する」そういう力をつけていかないとダメですね。単純なことは AI のほうが賢いんだから。あとは、「楽しむこと」ですね。



▼相棒のようなお二人。
これまでに3度、同じ学校で一緒になってきたそうです。これから子供たちを優しく見守ってくださることでしょう。



「シリーズ 新！学習指導要領」まとめ

3回に渡ってお送りした「シリーズ 新！学習指導要領」いかがでしたか。新しい取り組みに先生方もまだ手探りながらも、「子供たちのために」創意工夫をされています。私たち保護者も、カチカチに悩めることなく、子供たちにとって一番よい方法は何かを下記を参考に一緒に考えてみませんか。

保護者の働きかけが、子供の「生きる力」を育む大きな原動力になります。

「ありがとうございました！」

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が深い。
- テレビ、ビデオ、DVDを見る時間などのルールを決めている。
- テレビゲーム(携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等も含む)をする時間を限定している。
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている。
- 子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。



「平成29年度全国学力・学習状況調査を基にした専門的な調査分析に関する調査研究」より



子どもの頑張りをちゃんと認めてあげていきますか？



子どもが頑張っている姿を見ると、とても嬉しくなりますね。でも「うちの子は全然頑張っていないもの」と思っている方はいませんか。また、親が認めていることを、子どもは感じ取っているのでしょうか。そこで今回、生徒と保護者それぞれに、アンケート調査をし、結果を見ながらスクールカウンセラーの三木崇弘先生にお話をお聞きしました。子どもの頑張りについて、一緒に考えてみましょう。

「もっと認めて」 25%

保護者へのQ1の質問から、アンケートに答えて下さったほとんどの方が、子どもの頑張りを認めているのだなと感じました。

そうですね。それが子どもにしっかりと伝わっていればいいと思います。回答率の違いから考えると一概には言えないのですが、生徒へのQ3で「認めてもらっていない」と感じている子が、「どちらともいえない」と合わせて25%になっています。そこに親と子の気持ちのギャップが感じられます。

生徒へのQ1で「自分は頑張っている」と思っていない子が16%いるのも気になり

ました。

子どもの自己理解によるところもありますね。本当に頑張っていない子もいれば、親から見れば十分頑張っているようでも、自分自身は「まだ頑張っていない」と思ってしまう子もいるでしょう。

成果より プロセスが大事

生徒の自由記述では、子どもの様々な気持ちを見るのができました。大切な声として、今回は原文のまま載せさせて頂きました。

成果が出ていなくても、そこまで頑張ったプロセスを認めてほしいという声が多いですね。プロセスを認められると、結果とは無関係に「人

格を認められた」と感じることができません。

保護者へのQ3で、みなさん色々な形で応援する気持ちを伝えていらっしゃいます。言葉で伝えることは、とても大切だと思います。思春期の子どもは照れてそっけない態度をとることもありすが、実は喜んでいたりすることが多いです。

子どもをよく見て

ほめる時に気を付けられないといけないことがあります。ほめることが、本人の気持ちとマッチしていないと逆効果になってしまいます。的外

れ、適当なほめ方だと、子どもは「わかってもらえていない」と感じます。

子どもをよく見ることが必要ということですね。子どもは「大人が自分の都合」で関わってきているかどうか」を敏感に察知します。大人になると頭での理解が先行して納得できることもありますが、思春期は感覚的な理解の部分が残っていますから、大人の都合の「適当な声掛け」や「社交辞令」は見抜かれてしまいます。そうならないために、子どもが感覚的に納得できる声掛けが必要です。そのためには普段から子どもをよく見ておくことが欠かせません。

PTA参加で 情報収集を

親の見えないところで頑張りを知るのは難しいですよ。

思春期の子どもは出来事を自分から親に報告しないのが普通ですので、コミュニケーションの中からどう拾い集めるかがカギになります。保護者間の情報交換もとても貴重です。

PTA活動で学校へ行く回数が増やして、情報収集するのもとてもいいと思います。先生にも、学校で頑張っている様子を聞くこともできます。保護者会や面談だけでは見えてこない部分を知るためにも、PTA活動を有効利用するといいかもれません。

「頑張れない時」 見極めて

「頑張る」という言葉は「すごい言葉だ」と思いますが、心が弱っている時には言うてはいけないと聞きませす。そのあたりの加減が難しいと思うのですが。

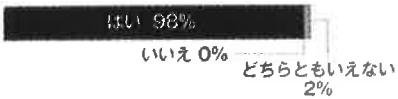
これは判断基準が難しいですね。コンディションの見極めが大切です。本人は「もう限界」と言っているのに、余力がある場合もありますし、逆に、十分に頑張っているのに「もっとちゃんと頑張らなきゃ」と思ってしまう場合もあります。後者は注意が必要です。「頑張ったね、頑張っているね」と気持ちを汲んであげて下さい。



スクールカウンセラー 三木崇弘先生

保護者に質問

回収率23%
Q1.「子どもは頑張っている」と思うことはありますか



Q2.何を頑張っていると感じますか

部活	75%	人間関係	7%
勉強	42%	遊び	7%
学校生活	19%	習い事	11%
通学	9%	スポーツ	9%

その他:全て・ストレッチ・動画作り・体力作り・身体づくり(身長を伸ばす)

Q3.子どもが頑張っていると感じた時、応援する気持ちをどのように伝えていきますか

- ・応援していると素直に伝える、逃げたいと感じている時は今なすことの大切さを一緒に話します
- ・朝、「行ってらっしゃい、頑張ってるね!」と笑顔で送り出す
- ・人の気持ちは言葉にしないと伝わらないので、言葉にして伝えています
- ・部活応援に行く 外食をする たくさん話を聞いてあげる
- ・平日頑張っているから休日は楽しい事や美味しいものを食べさせたりと出来る事を見つけて支えている(つもり)
- ・親としてできる事(食事、用具の準備、起床手伝い等)をしっかりやって陰で見守っている
- ・本人に直接、素直に伝えるのが照れくさいので、夫や他の兄弟に「はすごんだよ」と本人の目の前で言って間接的にほめる
- ・離れて暮らしている祖母に伝えて、祖母から電話などで、母が喜んでいてという事を伝えてもらう
- ・頑張り過ぎていた時は、そんなに頑張らなくてもいいんだよ、と逃げ道を作ってあげる

生徒に質問

回収率98%
Q1.「自分は頑張っているな」と思うことはありますか

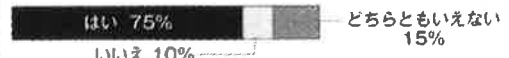


Q2.今、一番頑張っていることは何ですか

部活	56%	ゲーム	2%
勉強	37%	学校生活	2%
習い事	9%	委員会	1%
趣味	6%	学校行事	1%
無し	5%	人間関係	1%

その他:家の手伝い・各種検定・リハビリ・貯金・好きな事を我慢・目標達成のための努力・生活改善

Q3.「親は自分の頑張りを見てくれている」と感じますか



Q4.もっと認めてほしいと思うことはありますか



はい 13%

- どんな時にそう感じますか
 - ・テスト結果が良いとき・努力して結果を出した時
 - ・親の知らない所で頑張ったとき・目標を達成した時
 - ・家事を手伝った時・日常生活
- その他自由記述
- ・何でもかんでも決めつけるから、親に認めてもらわなくても良い
 - ・余り頑張っていないので、認めてもらえなくても仕方ない、親の期待が重い時がある
 - ・長時間勉強してもまだ足りないと感じる時、十分に頑張っているのに、けなされた時
 - ・結果が伴わなくても応援してくれるとやる気が出る
 - ・勉強のストレスでできつた時、頑張っている時もあるけど、そういう事がある事を理解してほしい
 - ・親が思っているより努力している、部活でレギュラーにならなくても頑張り認めて欲しい
 - ・自分の能力以上のことを期待しないでほしい、自分出来る事をしっかりやった時
 - ・小さい事でも精一杯頑張った時

アンケート結果を見て、とても勉強になりました。紙面の都合上全てを載せられなかったことをご了承下さい。ご協力ありがとうございました。

